

センター試験本番レベル模試

「第4回センター試験本番レベル模試」が行われました。受験生のみならず、多くの高1・2生が夏の集大成として取り組みました。この夏に頑張った生徒は、飛躍的な伸びを期待したかもしれません。しかし、夏休みに頑張ったからといって、すぐに成果が出るものではありません。まずは焦らず結果を受け止め、今後の課題を一つずつ浮き彫りにしていくことが必要です。そんな中で、模試後に生徒がよく言うセリフを紹介しましょう。

《受験後によく聞く声》

▼時間が足りませんでした。
▼実力不足。あと何分あれば出来たのか、何点上がるのを知ってください。
▼答え見たら出来ました。
▼当たり前です。なぜ試験中にその答えが出なかったかを考えてください。隣の人が気になって...

▼本番にその言い訳は通用しませんよ。公式忘れてしまいました。
▼公式はその場で導き出せるのが理想ですが、教科書内容の公式は最低限覚えてください。
▼答えを二つまで絞れたのですが。
▼しっかりと解答を見て復習しましょう。あとちょっとで成績上がるかもしれません。

今回難しすぎです。
▼難しいなら、平均点も下がるため気にしなくてもよいかと思えます。得意科目なら、他と差をつけるチャンスでもあります。
▼問題外。

このようなセリフを毎回のようになります。重要なことは、そうならないように今後どう改善するかです。全てを改善することは難しいです。最初に書き直しましたが、まずは一つずつ対処していきましょう。(齋藤先生)



情報集め

この夏、大学のオープンキャンパスに参加した生徒もたくさんいると思います。

オープンキャンパスでは校舎や学食、図書館などキャンパス内の施設を見学できるだけでなく、実際に大学の模擬授業を受けることができた。先生方や大学生と話すことができた。カリキュラムや取得可能な資格についての説明を聞くこともできます。そのことは大学での学びを知りたい機会になったのではないのでしょうか?今まではなんとなくのイメージしか持っていなかった大学が、生の情報を得ることで、より具体的なものになったはず。

大学についての情報は各大学のホームページやパンフレット、書籍などでも集めることはできますが、実際にオープンキャンパスに行つたことで、自分自身で体験し、自分の頭で学校を判断することができるようになるのです。その大学に行きたいという気持ちがより強くなる生徒もいれば、ホームページやパンフレットを見て思っていたイメージと違って、別の大学のことを考える生徒もいます。それは今後の人生にも大きく影響してきます。情報がなければ自分がやりたいことなのか、どうなのかわからず、興味を持つこともないでしょう。まずは動いて情報集めをすることが大切です。オープンキャンパスに参加できなかった人も、まだまだこれから様々な機会があります。ドンドン積極的に参加しましょう。(河野先生)



夏休みが終わった

この夏休みの過ごし方はどうだったでしょうか。阿波踊りというビッグイベントもありました。家族旅行に出かけた人もたくさんいるでしょう。毎日登校して勉強に明け暮れていた人、宿題さえなかなか終わらせずに勉強が思うようにできなかった人、色々だと思いませんか?

しかし100%全てが上手くいった人はいないと思います。どんな人にとっても大切なことは「反省すること」です。夏休みをもっとうまく過ごすことはできなかったか。やり残しはないか。学習時間は確保できたのか。きちんと反省して、これからの勉強に活かしてください。夏休みが終わったら、またいつもの日常が再開です。学校での勉強時間が増える分、自分のために使える時間は当然減ります。今まで以上に時間を有意義に過ごすことが大切となります。受験生の人は、これからの佳境です。夏休みの反省をしっかりと活かして、絶対に志望校に合格できるレベルに達するように、頑張りましょう。(小倉先生)

高校生の夏合宿 Snap Shot



大変だ。だがよくなる!

「あなたの夢は何ですか?一生かけてやってみたいことは何ですか?」そう聞かれてすぐに答えられる人は、その多くはないでしょう。「そんなこと言われても、わからないよ!」考えたこともないよ!。という人がほとんどではないでしょうか。充実した人生を送りたいとなんとなく思っているも、じゃあ、何をやらねばいいかという、何をやっていいかわからない。まだまだ社会経験が少ないあなたにとって「これだ!」と断言できる自信なんてないですね。人はみな大なり小なり将来に対して不安を抱えて生きています。一度は、「これだ!」とワクワクしながら決めたことでも、時間とともにまたまた不安になって、いつのまにか悩みの中に引きずり戻されてしまいます。



しかし、迷いの人生は、悪いことばかりではありません。迷うことは我々に思いもよらない示唆をくれます。それは「今この時点で与えられた課題に対し、全力で取り組むことの大切さ。明日を思い煩うのではなく、目の前の課題に真剣に向き合い、いろいろな方向から細かく分析し、自分のまわりへの様々な影響も考え、『自分良し、相手良し、社会良し』の姿勢で、一番いい解決を図る。達成すればしばらくの充足感に浸れます。でも、それもつかの間、次の課題が襲ってきます。しかしそれも全力で取り組めます。そうやって繰り返していくうちになぜか上手くできるようなり、自分のやりたいことが見つかり、夢が明確になります。迷いが晴れると有益な目標が設定できるようになり、最善の到達方法が自然に思いつくようになります。日々、全力で課題に向き合うことで、さらに高い志が芽生えてきます。自分にとって大変なことは成長へのチャンスなのです。大変だ。だからよくなる!。9月も精いっぱい君になれ!(藤枝先生)

2017年9月の予定
第一ゼミ・四谷大塚
9月1日(金) 【ゼミ小中学部・四谷大塚NET部】
通常授業 順次スタート
2日(土) 【四谷大塚NET部】 小4生公開組分けテスト
【ゼミ小学部】 小4生~小6生各クラス「毎週テスト」再開
3日(日) 【四谷大塚NET部】 小5生・小6生公開組分けテスト
【ゼミ小学部】 小6生 日曜講座再開
「附属中・文理中受験対策」「公立中高一貫校受験対策」
9日(土) 【ゼミ小学部】 小6生 公立中高一貫校模試(適性検査)
東進衛星予備校
9月23日(土) 難関大・有名大本番レベル記述模試

《《《フログ・アーカイブから》》》》 四谷大塚NET徳島駅前 2017.8.12のブログより
休みというのは、ほんやりしているといつの間にか時間が過ぎていってしまう。
寝る前に「今日は何をしたんだろ?」と考えてみてください。そのとき、「今日は家族で川へ行つて、バーベキューパーティーをした!」とか「残っていた夏休みの宿題を終わらせた。」など、はっきりと言えればそれなりに「充実」していたのだと思います。それがたとえ「木陰で空を見ながら昼寝していた。」であったとしてもです。しかし、ときとして「今日は何をしたんだろ?」となかなか思い出せない日があるのではないのでしょうか。そして、そのように日々が続いてしまうとあつという間に休みが終わってしまっています。皆さんは今日何をしましたか?

この中にかくれている物は何?
食べ物・動物などいろいろだよ!
(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)
<前号の答え>
(1)ハリネズミ (2)とろろん (3)カゲロウ (4)カイワレ大根 (5)ごぼう (6)ぶた (7)天の川 (8)きんぴらごぼう

なぞなぞ未来くん
問1) 新人が持っている鍵ってななんだ?
問2) あげると空を飛んだり食べられる。このいきものななんだ?
問3) 食べたらいっぱい遅くなるものななんだ?
問4) ハチの仲間魚ってだあれ?
問5) 1階からスタートして50階がゴールのA君と地下50階がゴールのB君二人の速さは同じです。どちらが先にゴールするでしょうか?

問6) 目がいっぱいあって、水を切れるものななんだ?
問7) すぐ転ぶ教科ってななんだ?
問8) 人がいっぱいいるのにカラッポのみなとななんだ?
問9) 子供が座らないテーブルってななんだ?
<前号の答え>
(1) 三角定規を紙の上に立てて線を引く (2) いちご (皮無かった) (3) 88軒 (引越しても家はなくなる) (4) 赤 (フタが赤くない) (5) 警備員に捕まる (再開を追い越すのは参加者以外だから) (6) 人間と馬 (7) 東京駅 (東京駅から出発するのはすべて下りだから)

「いつまでに」
いつまでに宿題を終わらせますか
いつまでに仕事を終わらせますか
いつまでに家事を終わらせますか
宿題も仕事も家事も
誰でもいつかは終わります
大切なのは
いつまでにそれを終わらせて
次のステージに移るの
もうすぐ夏休みも終わり
新たな目標を立てるなら
いつまでに、を忘れずに
Deadline
NO.158